

# 変わりゆく地政学的ダイナミクス ～インドネシアと日本を中心に～

米国トランプ大統領の新外交攻勢、中国の政治、経済、軍事各方面での急速な台頭により、国際情勢、とりわけその一部である東アジア情勢は、我々が好むと好まざるとにかかわらず、既存秩序の変化に直面しつつある。そうした中で歴史的に強固な友好関係を維持してきたインドネシアと日本もそれぞれ新たな局面への対応を迫られている。今後に向けて両国の課題を検証すると同時に、あるべき進路について考える。



◎講演者

## Rizal Ramli 氏

前インドネシア海洋担当調整大臣

講演者略歴

1954年12月 西スマトラ州生まれ。

2000年 エコニット(独立系経済シンクタンク)創設

2000年3月～2001年2月 食糧調達庁長官

2000年8月～2001年6月 経済担当調整大臣

2001年6月～同年8月 財務大臣

2005年 インドネシア国営銀行(BNI) 監査役

2007年 セメン・グレシック社(国営セメント会社) 社長

2015年8月～2016年7月 海洋担当調整大臣

学歴

1973年 バンドン工科大学(ITB) 物理工学部

1980年 ボストン大学修士号取得

1990年 ボストン大学にて博士号取得(経済学)

2018年 **2月1日(木)** 16:40～18:10

会場 ————— 本学1階 想海樓ホール

参加費 ————— 無料(事前登録制)

言語 ————— 英語(日本語同時通訳あり)

参加登録 ————— [grips-pr02@grips.ac.jp](mailto:grips-pr02@grips.ac.jp)

